

令和3年度（2021年度）

金沢大学法科大学院

小論文試験

B日程問題

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は5枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

## 令和3年度（2021年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	小論文
------	-----

次の文章は、萱野稔人『死刑 その哲学的考察』（ちくま新書、2017年）の一部である。これを読んで、次の問いに答えなさい。

なお、出題に際して、原文が縦書きのものを横書きにする、表題を省略するなど、原文の一部に改変を加えてある。

問1（40点）

本文中の、死刑を文化の問題として説明するとされる立場について簡潔にまとめ、下線部のように筆者が主張する理由について、合わせて400字以内で説明しなさい。

問2（60点）

死刑制度を存置すべきか廃止すべきかについて普遍主義的な立場から自説を述べ、「死刑制度の悪用（死刑になりたいためにたくさんの人を殺す）に対して、死刑よりも苦しい刑罰になりうる終身刑（死ぬまで監獄からでることができず、仮釈放もない刑罰）を課すべきである」との考えの是非について600字以内で論じなさい。